

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分  
 【発行日】平成26年5月8日 (2014.5.8)

【公表番号】特表2013-537961(P2013-537961A)  
 【公表日】平成25年10月7日 (2013.10.7)  
 【年通号数】公開・登録公報2013-055  
 【出願番号】特願2013-527652(P2013-527652)  
 【国際特許分類】

**F 1 7 C 13/00 (2006.01)**

**B 6 3 B 25/16 (2006.01)**

**B 6 3 H 21/38 (2006.01)**

【 F I 】

F 1 7 C 13/00 3 0 2 Z

B 6 3 B 25/16 1 0 1 A

B 6 3 H 21/38 B

【誤訳訂正書】  
 【提出日】平成26年3月11日 (2014.3.11)  
 【誤訳訂正 1】  
 【訂正対象書類名】明細書  
 【訂正対象項目名】0 0 0 9  
 【訂正方法】変更  
 【訂正の内容】  
 【 0 0 0 9 】

前記貯蔵タンク及び関連するバルブ及びパイプ系は、液体又は圧縮ガスが漏洩した場合に第 2 バリアとして作用するように設計された空間内に配置されるべきである。この空間の隔壁材料は、ガスタンクと同じ設計温度を持ち、前記空間は、最大に圧力蓄積に耐えるように又は安全な位置（マスト）への圧力放出排気を与えるように設計されるべきである。前記空間は、漏洩物を包含できるものであり、液体又は圧縮ガスが漏洩した場合には、回りの船体が許容できない冷却に晒されないように断熱されているべきである。